



海の便り



鹿児島カップ火山島めぐりレース 3 位入賞のホーネット

会報目次

- | | |
|----------|-------------------------|
| CHAPTER1 | MCC 三河湾周航レース (アルミス) |
| CHAPTER2 | 7 月スモールクルーザーレース (ホープ) |
| CHAPTER3 | 愛知県ドクターヘリ |
| CHAPTER4 | 鹿児島カップ火山島めぐりレース (ホーネット) |
| CHAPTER5 | 第 15 回理事長杯のご案内 |
| CHAPTER6 | 海の交通ルール |

行事予定

- | | |
|------------|-------------------------------|
| 8 月 3 日 | 第 10 回蒲郡マリンカップ |
| 8 月 24 日 | MCC 8 月ポイント兼理事長杯 (海陽ハーバー) |
| 8 月 24 日 | スモールクルーザーレース |
| 9 月 14 日から | デニスコナーカップ・JAPAN CUP (三河湾・伊勢湾) |
| 9 月 21 日 | MCC 佐久島レース (早朝) |

久しぶりの優勝

アルミス 稲垣

ナイトレースと言うのにメンバーが集まらず、鹿児島火山島レースに所用のため参加できなかったホーネットの高橋さん、アクティブの小西さん、小西さんの友達の成瀬さん、アルミスからは梅村さんと私の5名で参加することになった。

土曜日の午後に旧蒲郡ハーバーに回航、良い風があり、久しぶりに乗った父と二人でセーリングし豊橋港の堤防を一周、旧蒲郡ハーバーに向かう。回航中にウインデックスが無い事に気がつき、ナイトレースにウインデックスが無いのは辛いと思い、艇長会議は小西さんをお願いし、深夜に私はマストに登りウインデックスの取り付けをする。若い頃(20年前)レスキューでロープ登りは得意としていたが、50代になりお腹も出てきてメタボと言われるようになってしまったが、今もマスト登りは私の担当になっている。

7月の昼間のレースは辛い、ナイトレースは涼しくて楽しいレースである。しかし朝凪で風が無くなるとリタイアしたくなるレースであり、アルミスではスタート前から風が無くなった7月のMCC会報に載っていた佐久島の美味しいもの、岩カキ・大アサリを食べに行こう」と話が弾んでいた。

今回のレース参加艇、全く同じレーティングのダンシングビーンズ、セレスティーヌ、アルミスとオデッセイである。スタートはハーバーの赤灯台と点滅灯を付けたブイの間をジャストスタート、大島沖でスピナップ、南東の順風の中でアルミスを先頭に、すぐ後ろにダンシングビーンズ、セレスティーヌ、オデッセイの順である。実はここで困った事が起きた。普段は他のメンバーがいてGPSを見てくれるのだが、私も梅村さんも使い方が判らない。GPSの説明書は有ってもメガネが無くて見る事ができない。焦る(^_^A)。何とか迷いながらも豊橋潮流ブイをトップ回航、順調に野島に向かう。午前2時に野島を回航、風が弱くなりジャイブの早かったダンシングビーンズに先行されてしまう。松島と篠島の間を通り師崎水道へ、暗くて不安でチャートを見るが、メガネが無い……焦る(^_^A)が、スピンを降ろしたダンシングビーンズを抜き、午前3時暗い中で一色ブイを回航する。生田鼻ブイを回り順調にクローズホールドで豊橋潮流ブイを目指す。ダンシングビーンズと抜きつ抜かれつで、アルミスが豊橋潮流ブイを何とか先行して回航、小島東を通過したところでコミッティーを電話で起こし、順調に帆走していたまでは良かったのですが……。午前6時頃から風が弱くなり、フィニッシュまで500mで全く風が無くなる。微風に強いダンシングビーンズはどんどん迫ってくる、フィニッシュは大潮で東から西への潮の流れが強くて苦勞しながらも、何とかファーストホームで来ました。

今年のアルミスはトラブル続きで成績が上がらず、昨年11月以来の優勝に喜んでいます。

8月からMCCレースは後半戦に入ります、後期優勝を目指して頑張ります。



大島前で余裕の撮影



迫ってきた DB フィニッシュまで 30m

7月のスモールレース

H20.7.27 ホープ 南原

天気は晴れ。ここのところ毎日暑い。早めに集合してごみ拾い当番をすませるころには既に汗だく。今日のコースは大島、子島、仏島の3島周りで、来週のマリンカップの予行になるので、どうせなら勝っておきたい。ホープのメンバーは北河、石倉、渡邊、田中と私で5人、今回は十分な人数が集まった。周りを見渡すとハニービー、バイキング、リトルウィンディーが参加。艇長会議のころには徐々に風も出てきて、それでは出港。コミッティのメーヴェが写真撮影するため、スタート前に赤灯前に集合と申し合わせて各自出港したものの、みんなあまり集まっていなかったようだ。いい写真は取れたのでしょうか。

さて肝心のレースは、スタート3分ほど前にハニービーとリトルウィンディーに挟まれながらランニングで併走してラインにエントリー。3艇の真ん中だったことから自由に動けなくて、やや時間を余して蒲郡YH側のレイライン上に出てしまい、仕方なく艇を一旦止めることに。しかし、ここは落ち着いていた。なぜなら、今年に入ってランナー(30ft)に乗って加速に手間取った経験が、ホープの加速感を再認識するきっかけともなっていたからだ。スタートまでの残り時間を読んで、迷いなく再加速・タックしてスタート。ポートで他の艇の前を横切れるだけのリードができて上々の滑り出し。

スタート後、仏島までは上りコースになったが、5人で起こしてちょうど良い風だったため、乗員が多い分だけ徐々に先行できる展開に。また、5回のタックもミス無くこなして、順調に仏島のラインに乗った時点でトップ。すぐ後ろにはバイキングがいたが、こちらはスタートからタック1回なのに寸分の狂いなくレイラインに乗せてきた。後で聞くとGPSを使用との事だが、それはそれでビックリ。やっぱり野生の勘より文明の利器か？

仏島の回航後に機を見てスピニングアップ。いつもならドタバタするところだが、動作も配置も戸惑いなく順調だ。ジャイブもスピニングを潰すことなく成功し、そのままフィニッシュへ。海上に写真撮影に出ていたメーヴェが機走全速で帰港して、赤灯まで全力ダッシュしているのを横目に、ファーストホーム。フィニッシュのタイムは何とかとれたが、写真撮影が間に合わなかったとか。コミッティにも勝ってまさに完勝。

正直、今回は出来すぎなくらいでした。この勢いで来週のマリンカップでもクラス優勝とクローラーを取るぞ。

レース成績一覧

MCC	7月度レース		
名称	MCCナイトレース		
コース			
距離	マイル	スタート時刻	23:00:00
風速	5m以下		

着順	着順船名	TSF	TMF (A)	到着時刻	要時間	正時間 (A)	修正順	得点
1	アルミス5	625	0.96	6:58:49	28729	27580	5	16
2	ダンシングビーンズ 3	625	0.96	7:09:32	29372	28197	6	15
3	セレスティーン	625	0.96	7:49:50	31790	30518	7	14
4	オデッセイ	650	0.92	9:13:58	36838	34004	8	13
5								

スモールクルーザーレース成績表

スタート時間 11:00:00

艇名	フィニッシュ時間
1 ホープ	11:55:52
1 リトルウィンディー	11:58:31
1 ハニービー	11:58:15
1 バイキング	11:59:43

レース名	7月スモールクルーザーレース						ファーストホーム	ホープ	
コース	S 小島 仏島 大島 F						優勝	ホープ	
艇名	型	GTA	TSF	着順	所要時間	修正時間	順位	時間差	
ホープ	YAM21C	785	0.7643	1	0:55:52	0:42:42	1		
リトルウィンディー	YAM21R&CT	775	0.7742	3	0:58:31	0:45:18	2		
ハニービー	YAM23	760	0.7895	2	0:58:15	0:45:59	3		
バイキング	X79	740	0.8108	4	0:59:43	0:48:25	4		

もしもの時に駆けつける愛知県ドクターヘリ



コード・ブルーと言うテレビドラマが7月3日(木)から毎週木曜日午後10時から始まりましたが、みなさんは「ドクターヘリ」という言葉をご存知でしょうか。日本では昨年6月に法制化された新たなる医療システムです。日本にはこれだけの医療機関がありながら、生命の危機に陥ったときに30分以内に専門医の治療を受けることができるのは、実は東京と大阪の2都府だけともいわれています。一方で、心肺停止に陥り、脳に酸素が供給されない時間が10分を超えると蘇生率は2%を下

回ります。では、どんな対策が必要なのでしょう。そのひとつの答えとして、今、世界各国で検討・実施され、日本でも2007年から本格的に始動したプラン——それが「ドクターヘリ」プロジェクトなのです。初療室に匹敵する設備を搭載したヘリコプターで一刻も早く患者の元へ医療者を派遣し、現地で治療を開始する究極の医師デリバリーシステム。いわば、病院での「待ちの医療」から現場での「攻めの医療」への発想の転換です。まさに翼を持ったERとも呼ぶべきシステムが、この「ドクターヘリ」なのです。

平成20年4月現在、全国に14機のドクターヘリが配備されており、愛知県では平成14年から国と愛知県が予算を半額ずつ出して愛知医科大学病院高度救命救急センターを基地として運用をしています。毎日365日、朝8時30分から17時まで、消防、医療機関の要請で基本的に愛知県内に出動します。(年間出動件数約450件)

ドクターヘリ出動要請から蒲郡市までは約12分で到着する事ができます。例えば「海陽ハーバーでマスト(高さ10m)に登っていてハリヤード切れて転落し意識が無い」と119番通報すれば、指令課員は救急車とドクターヘリ出動要請し、6分後に救急車が到着、その6分後に海陽ハーバーの広場にドクターヘリが着陸します。そして、海陽ハーバーが救急処置室となり救急専門医が救命処置を行なった上で、適切な処置や手術のできる救命救急センターにドクターヘリで搬送する事になります。ドクターヘリは着陸できる場所があればどこでも下りてきます。

皆さんのヨットが三河湾の真ん中を帆走中、仲間の頭にブームが当たり意識が無くなった。突然の激しい胸痛で苦しんでいる。など、直ぐに携帯電話で119番してください。三河湾なら必ずどこかの消防署につながります。患者さんの状態・受傷機転を伝え、今の場所を伝えてください。指令課員は聴取した内容から判断しますので、指示に従ってください。「佐久島にドクターヘリを向かわせますのでヨットで向かってください」とか「形原漁港に救急車を向かわせますので…」指令課員は患者さん状態、場所から判断しドクターヘリや救急車を出動させます。

夜間は愛知県の防災ヘリコプター(わかしゃち)は飛ぶ事ができます。(医師ではなく救急救命士が乗っています)防災ヘリコプターはホイストが装備されていて、患者さんをバケット担架で吊り上げる事ができます、でも、ヨットではマストがあるので……。

ドクターヘリ出動基準 顔面蒼白や呼吸困難の様相を呈するもの、意識障害(JCS3桁以上)、ショック(血圧低下、脈拍上昇)心臓・肺の激痛(胸痛)、痙攣・麻痺 事故で車などに閉じこめられ、救出までに20分以上を要する場合、高所からの墜落 明確な重症患者、または負傷者が二人以上いる場合、重症出血(創部、消化管、生殖器)、急性中毒 重症熱傷、電撃症、落雷、溺水 歩行者が車などにより、時速30km以上



高速道路上着陸するドクターヘリ

の速度ではねられた場合、または3m以上はね飛ばされた場合 その他、生命に関わると疑う理由がある時

費用はどのくらいかかるの？

ヘリコプター搬送にかかる費用はありません。ただし、医師が現場にて診察・処置を行いますので、保険診療の範囲内で医療機関より費用請求があります。つまり一般の開業医の先生に往診してもらったときの費用と同じと思ってください。

外洋を帆走中の急病は？

国際VHFで海上保安庁に連絡してください。もしも携帯電話が繋がれば118番通報して指示に従ってください。

鹿児島カップ火山島めぐりレース

ホーネット

いよいよ第一レースの日、頑張るぞー。7時朝食後にホテルを出発、雨が降ってきた、通り雨だがけっこう濡れてしまった。既に半分ほどのレース艇が出港していた、至急準備して舳いを解いたのが8時、最終の出港だ、何せ一番奥に係留してあるので他艇が出なければ出港できない位置……

風は微風、南寄り、コースをチェックしスタートを待つ5分前から南西の風が、スピンは揚がらないようだ、1分前、ゴー、良い位置をキープしたつもりだがスピードが乗らない、ベンガルが良いスピードで前へ……。1マーク、かなり遅れた9位回航、次のレグもスピンの揚がらない、6-70

度風が落ち後ろに回りスピニアップ、ベンガルは遥か彼方だ、遅れて夢ひょうたんが……。悔しいが何ともならない、2マーク、3マークも……。1マークに戻るコース岸寄りか、外に出すかある時まで岸、外に出したときから不運が先行艇に追いついたものの後続3艇に抜かれた、ガッカリ

結果はAクラス修正8位、片手の中には居たかったが残念、ホテルに戻り休養、18時からの夕風フェスタ、夕風の中、桜島とヨットをバックの素晴らしい会場、生バンドチームが何組も……。20時前に切り上げてホテルに戻り明日に備える



第2レース

今日も暑い日になりそう、天候チェックでは南西の風4m、手頃だが……

7時半には現場到着、昨日より早くまだ全艇係留していた、他の中型艇が出なければ出港できない、まだ10艇ほどに係留している中を出港、スタートラインに着くが風は無く北寄りのささやかな風、どうなることやら……

でもコミッティーは50分前に赤旗を掲揚、南寄りの風で準備開始?? 30分前には東寄りのそよ風、5分前には南東の5k、見事にラインは決まっているのだ

ポートスタートを考えていた中村、スターボースタートが出来る風になった、慌ててリミット側に移動開始したが遅い、リミットにポートでアプローチ、ジャストタイミング過ぎてスターボーで合わせてきたベンガルを避けざるを得ない、タックして失速……

第一マーク昨日ほどでは無いがスピードが乗らず挽回できない、第2マーク後スピニアップ、風が落ち潮がキツイ、トップのベンガルが苦しんでいるのが良くわかる、潮を考慮し桜島寄りに進める、一進一退、負けたと思ったが我々に都合の良い風がきた第3マークは挽回し夢ひょうたんに続き6番手で回航、やる気になった。

ところが第2ラウンドもクローズのスピードが乗らない?? 31艇に抜かれてしまう始末??? 再度スピンランまでも風が落ち潮のキツイ中抜かれた艇に追いついて最終マークを回航したが、付いて行けない悔しい、早めのタックが効を奏し挽回したが……

その結果は、Aクラスでの修正ではなんと3位、負けた艇はクラスが違いラッキーでした。ちなみにベンガルはファーストホームで優勝しました。



写真はレース終了後、桜島をバックに記念写真と喜びの表彰台です



第3レースの日、5時起床し準備開始、今日は鳥居、多田が帰るので中村、二村、石原、十八日、三戸の5人、ロングを5人で??? 都合悪く集まらなかったの・・・

前日積み込み品は調達済み、暑いので飲料と氷を

スタートラインが遠いので2時間前の7時には舳を解き出港、途中朝食のおにぎりを頂きながらゆっくり進めた。やはり風は無くスタートが出来るのか??? なぜか9時にはそよ風が・・・

上に大型艇が入り抜けたところで直タック、沖に向かう、まあまあのスタート、フレッシュを得て前へ、クラスが違うがピッチ31のガイアが素晴らしい滑りで先行、下から夢ひょうたんが続ぎ、上はスターポーを伸ばしタックしたベンガルが悠々と滑りまもなく先頭になった。

潮は下げ潮、風は南東、湾口に向けてクローズホールド、戦いは始まった。

指宿沖で南西に振れた、夕方は開聞岳沖、風が無く夕凧、東シナ海に太陽が沈む(写真)。風の無い夜、少ない風を拾い何とか硫黄島に着いた、途中GPS目的地に硫黄島のつもりが東にある黒島を間違えて入力してあることに気づき修正、気づいて良かった。



硫黄島に着くと回りにライバル艇が全然見えない??? おまけに風がぼったり、0時半に硫黄島西端をタックしながら通過、ボートスピードは0.5k、対地が1.5k、硫黄島、浅瀬、竹島を潮の流れに助けられ何とかクリアしたのが6時半、まだ風は無くこの先どうなることやら??? 先行艇も見えないし・・・8時過ぎようやく東系のそよ風が、進みだした、10時ころ佐多岬沖に、風は南に振れスピニアップ、一気に知林沖へ



ここでまたも風は落ちいら、佐多岬沖で並んだライバル艇、一度は先行できたのに追いつかれ、遙か後方にいた艇にも・・・フィニッシュ直前、この2艇に抜かれてしまったが、全然見えなかった先行艇が2艇見えるようになったことからかなり追いついたようだ。

16時半過ぎ、ようやく戦いは終わった。疲れた、写真はゴール後の写真です。疲れました。

成績等はわかりませんが、聞く話ではベンガルは帰りの都合でリタイア、トップは15時半過ぎビンテージのようで修正成績が楽しみである。

帰港準備と表彰式の日、帰る3人にも手伝っていただきヨットをクルージングモードに変更、午前中に作業も一段落、昼食はドルフィンパークに行こう。

行く前に本部に寄ると二晩目も微風に悩まされて頑張りつづけた艇が帰ってきた。ようやく成績表が張り出され、確認するとAクラス3位にホーネットの名があるではないか!!! 頑張った甲斐があり一部先行艇に逆転できた。総合はまだ発表されていないが自前で計算すると1点差でこれも3位になるはず、ヤッター!!! 喜んで自宅に電話してしまった。

午後は篤姫館と水族館を見学してから休息、仮眠できた。

表彰式はホテルの大ホール、場所も良いし飲食物や景品も良い、各クラス、レースごとにファーストホーム、ブービー、総合では各クラスに最下位賞があるなどユニークである、ちなみに最下位賞は3位より立派な副賞が付いている。

ホーネットもAクラス火山めぐりオフショアレースと総合各々3位の2個を頂きうれしい限りである、懇親や写真など沢山撮りました。





☆☆ オープン参加のクルーザー型ヨットレースを次の日程で開催します。

- レース名 第15回理事長杯ヨットレース
- 主催 財団法人愛知県都市整備協会
- 開催日程 平成20年8月24日(日)
- 開催場所 海陽ヨットハーバー 蒲郡市海陽町1-7
- 参加資格 小型船舶安全検査に合格している艇(乗員2名以上)
- 参加料 無料
- 表彰 [総合] 優勝~3位、飛び賞 [スモールクラス] 優勝
- 申込方法 所定の申込書に必要事項記入の上、海陽ヨットハーバー管理事務所窓口へお申し込みください。
(FAX又は電話予約可) [FAXによる申込み用紙](#)はプリントアウトしてご使用ください。
- 申込期限 **8月17日(日)** ※参加定員は先着20艇です。
- お問い合わせ 海陽ヨットハーバー管理事務所 TEL<0533>59-8851 FAX<0533>59-8185

レース公示(抜粋)

後援	愛知県／蒲郡市
協力	三河湾クルージングクラブ
競技日程	受付 9:00~9:30
	艇長会議 9:30~10:00
	レーススタート 11:00
	表彰式 14:00
適用規則	本大会は、「セーリング規則」に定義された規則を適用する。
注意事項	1) 出艇するしないの判断は、各自の責任で行ってください。 2) ライフジャケットは必ず着用してください。 3) 主催者側は、レース参加によって生ずる海上・陸上における人身事故又は艇の損傷等に対する責任は負いません。

理事長杯ヨットレース参加申込書(FAX用)

平成 年 月 日

平成20年8月24日開催の第15回理事長杯ヨットレースの参加について、下記のとおり申し込みをします。

代表者 _____.

記

艇 種 _____.

船 名 _____.

	ふりがな 氏 名	住 所	TEL
スキッパー			
クルー			

<管理事務所使用欄>

受付

担当

--	--

安全運航のしおり(抜粋) 3

プレジャーボートと法律

プレジャーボートをあやつり、魚釣りあるいは快遊にと余暇を楽しんでおられる皆さんは、すでに海技免状を持ち、また船体検査を済ませ、関係する法律に万全であると思えます。海技免状を取得する時、船舶職員法、船舶安全法及び海上衝突予防法等、海事に関する法律を学ばれたと思います。

しかし、皆さんが学ばれた法律の中で通常見過ごし、また海に出る時、案外おこしうるかも知れない行為に法律があることを知っていただくために、ここに抜粋し、列挙しましたので参考にして下さい。

(注：掲載した法令は、一部である。)

1. 港則法

第24条第1項(水路の保全)

何人も、港内又は港の境界外1万メートル以内の水面においては、みだりに、バラスト、廃油、石炭から、ごみその他これに類する廃物を捨ててはならない。

罰則(第41条第2号)

3箇月以下の懲役又は3万円以下の罰金

第35条(漁ろうの制限)

船舶交通の妨げとなる虞のある港内の場所においては、みだりに漁ろうをしてはならない。

罰則(第42条)

1万円以下の罰金又は科料

第36条第1項(燈火の制限)

何人も、港内又は港の境界附近における船舶交通の妨となる虞のある強力な燈火をみだりに使用してはならない。

第36条の2第1項(喫煙等の制限)

何人も、港内においては、相当の注意をしないで、油送船の附近で喫煙し、又は火気を取り扱ってはならない。

2. 航路標識法

第11条第2項(船舶についての制限)

船舶は、航路標識にけい留させてはならない。

罰則(第16条)

1万円以下の罰金

3. 水路業務法

第24条(水路図誌及び航空図誌の保護)

海上保安庁以外の者が、海上保安庁の刊行した水路図誌又は航空図誌を複製し、又はこれを使用して航路又は航空の用に供する刊行物を発行しようとするときは、海上保安庁長官の承認を受けなければならない。

罰則(第29条3号)

3万円以下の罰金

4. 水産資源保護法

第6条(漁法の制限)

水産動植物をまひさせ、又は死なせる有毒物を使用して、水産動植物を採捕してはならない。

罰則(第36条)

3年以下の懲役又は200万円以下の罰金

5. 漁業法

罰則(143条)

漁業権又は漁業協同組合の組合員の漁業を営む権利を侵害した者は、20万円以下の罰金

6. 愛知県・三重県の漁業調整規則

非漁民等の漁具、漁法の制限

内水面以外の水面においては、次に掲げる漁具又は漁法以外の漁具又は漁法で水産動植物を採捕してはならない。

(1) 竿釣及び手釣(まきえを除く(三重県))

安全航行のしおり (枚すい) 4

- (2) 投網 (注: 三重県は船から禁止)
- (3) 四つ手網 (3メートル平方未満の網に限る (愛知県))
- (4) たも網 (愛知県は火光を利用して使用するものを除く)
- (5) 動力を利用しない潮干漁法 (愛知県)
- (6) やす及びはし (三重県は火光を利用するものを除く)
- (7) 歩行徒手採捕

罰則

料料 (10,000円未満)

7. 公衆に著しく迷惑をかける暴力的不良行為等の防止に関する条例 (愛知、三重県)

モーターボート等による危険行為の禁止 (愛知県は第9条) (三重県は第8条)

何人も、通常、人が遊泳し、又は手こぎのボートその他の原動機を用いて推進する舟、水上スキー又はヨットをみだりに疾走させ、急回転させ、縫航させる等により、人に対して、危険を覚えさせるような行為をしてはならない。

罰則 (愛知県は第10条第1項、第2項) (三重県は第9条第1項、第2項)

1万円以下の罰金又は拘留若しくは料料

常習者は、6月以下の懲役又は3万円以下の罰金

8. 海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

この法律は、各種の措置を講ずることにより海洋汚染及び海上災害を防止し、海洋汚染防止に係る国際約束の実施を図り、究極的には、海洋環境の保全と国民の生命、身体及び財産の保護に資することを目的としています。

イ. 船舶からの油の排出の禁止

何人も、海域において、船舶からの油を排出してはならないとなっています。

油の排出規制については平成19年1月1日以降大幅に強化されました。

これに伴い従来小型漁船及びプレジャーボートから、航行中ビルジの排出については「油分濃度の規制」はありませんでしたが、今後は排出の基準に従わないビルジ排出は禁止されました。

以下が改正の要点です。

改正前

排出基準
ビルジ
 航行中排出する場合は油分濃度規制なし
 (油分濃度15ppm以下であれば排出方法は限定なし)
その他の油
 航行中排出する場合は油分濃度100ppm未満
 (油分濃度15ppm以下であれば排出方法は限定なし)

改正後

排出基準
 油分濃度15ppm(注4)以下
 航行中排出
 ビルジ等排出防止装置作動 } を満たす場合のみ排出可



上記基準に従わない排出は禁止となります

(注1) タンカー以外の船舶で総トン数100トン未満の船舶でプレジャーボート、小型漁船がこれに含まれる

(注2) 機関室に溜まった油と水が混ざり合ったもの

(注3) 油水分離器(ビルジセパレーター)

(注4) 1ppmは100万分/1 (15ppmは水1,000ℓに15ccの油が混入した油分濃度)

海洋への油 (ビルジを含む) の違法排出は以下の条項で処罰されます。

適用法令	法第4条第1項	船舶からの油 (ビルジを含む) の排出禁止違反
罰則	法第55条第1項	船舶からの油 (ビルジを含む) の排出 1,000万円以下の罰金
	法第55条第2項	船舶からの油 (ビルジを含む) の過失排出 500万円以下の罰金

ロ. 日常系廃棄物の排出規制

昭和63年1月31日以降、全ての船舶及び海洋施設からの日常生活に伴い生ずるごみ (廃プラスチック類、紙くず、金属くず等) の排出規制が大幅に強化されています。

罰則

1,000万円以下の罰金

過失による場合は、500万円以下の罰金